

日時 令和6年12月2日（月曜日）午前9時30分～（質問順1番から2番まで）
 令和6年12月3日（火曜日）午前9時30分～（質問順3番から4番まで）
 場所 新宮町役場 3階 議事堂

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者
1番	横大路 政之 議員	1) 高齢者終身サポート事業の実施を	<p>高齢者世帯の増加により、当事者の生活や死後の事務等についてサービスを提供する民間事業者が増加しており、利用者も増加している。</p> <p>一方で消費生活センター等の窓口には利用者から様々なトラブル相談が持ち込まれており、益々増加することが想定される。</p> <p>それらを受けて、国は本年5月に事業者向けの「高齢者等終身サポート事業者ガイドライン」を発表した。</p> <p>しかし「高齢者終身サポート」事業は当事者の生命や財産を守るための重要な住民サービスであり、民間が担うのではなく安全・安心が担保された行政サービスとして実施されるべきと考える。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者世帯の終活に関する実態を把握するため、調査の実施をすべきと思うが、見解を伺う。 2 全国各地で、自治体による「高齢者終身サポート」事業の取り組みが増加している中、新宮町においても、行政サービスとして実施すべきと思うが、見解は。 	町長
2番	大牟田 直人 議員	1) 町の公共施設へのアクセス向上について	<p>現在、新宮町では、庁舎機能が複数の施設に分離している状況である。住民にとって、これらの施設は一つの町役場として機能しているにも関わらず、移動に不便を感じているのが現状である。</p> <p>例えば、町役場から福祉センターへ移動する場合、マリックスを利用しても1時間以上待つ必要があるケースがあり、よりスムーズな移動手段の確保が求められると考える。</p> <p>複数の施設を効率的に利用できるよう、移動しやすい仕組みを構築することは、住民の利便性向上に直結すると思われる。このような取り組みは、住民が各施設の活動に気軽に参加できる環境を整備し、ひいては町全体の活性化につながるかと期待される。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <p>新宮町役場、福祉センター、そびあしんぐう、シーオーレ新宮、ふれあい交流館を巡回するなど、より柔軟な移動手段の導入を構築できないか。</p>	町長
3番	安武 久美子 議員	1) 高齢者、難聴者への窓口対応改善について	<p>近年、高齢化が進み、聴覚に障がいをお持ちの方が増加しています。新宮町においても、窓口での手続きや相談に訪れる高齢者や難聴者の割合は少なくないと思われます。</p> <p>このような状況の中、耳が聞こえづらい方との円滑なコミュニケーションを可能にする「軟骨伝導イヤホン」が注目されています。このイヤホンは、外耳周辺の軟骨を振動させることで、鼓膜に振動を伝えて音を伝えるため、周囲の音漏れが少なく、クリアな音声を届けられます。すでに全国の自治体や金融機関など、多くの窓口で導入が進み、コミュニケーションや個人情報を取り扱うシーンにおいて利用者と職員の双方から高い評価を得ています。</p> <p>そこで、新宮町においても、高齢者や難聴者の窓口利用の円滑化を図るため、次の2点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者や難聴者の方への窓口対応として、どのような工夫や配慮を行っているのか。 2 「軟骨伝導イヤホン」導入検討の可能性と導入に向けたスケジュールや課題について、見解を伺う。 	町長
		2) 緊急時や災害時における意思疎通困難者の支援拡充について	<p>近年、災害の規模が大きくなり、高齢化や多文化共生社会の進展に伴い、言葉による意思疎通が困難な方々が増加しています。</p> <p>そこで、イラストを指して意思表示ができる「コミュニケーション支援ボード」を、行政窓口や避難所などに配備することは、スムーズな支援や不安解消につながるかと考える。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <p>「コミュニケーション支援ボード」の導入に関する町の見解は。</p>	町長
4番	西 健太郎 議員	1) 漬物文化を次世代に継承する支援を	<p>農家が作る漬物などの加工食品は、地域経済、農業振興、食文化の継承に重要な役割を果たしている。新宮町においては、ひとまるの里やしんぐうマルシェなどで人気を博し、特定の生産者の加工食品を買い求める常連の消費者も存在していた。</p> <p>しかし、先の食品衛生法の改正により、原則として、すべての食品等事業者に一般衛生管理に加え、HACCP（ハサップ。製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法）に沿った衛生管理の実施が求められることとなった。そのため、全国的に、生産者がHACCP対応の設備投資ができず、事業を断念せざるを得なくなったという声が聞かれる。新宮町の実産者から直接話を伺ったところでも、同様の切実な声が寄せられた。</p> <p>そこで、次のことについて伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町内で食品衛生法の影響を受けている生産者の実態は把握されているか。 2 生産者の撤退により、地域の食文化が失われつつある状況を危惧している。生産者がやる気を失う前に漬物文化を次世代に伝えていくため、具体的な対策の必要があると思うが、見解を伺う。 3 生産者が生産者組合などを設立し、共同でHACCPに適合する設備を整備したい場合、町として支援（補助金や低利融資）を行うべきと考えるが、見解を伺う。 	町長

※役場、シーオーレ新宮、そびあしんぐうにおいて、議会中継を行っています。ぜひ一度ご覧ください。

※お手元のパソコン及びスマートフォンから新宮町議会にアクセスしてください。議会中継・録画配信を行っています。ぜひご覧ください。

※傍聴の受付は、役場1階総合案内で、当日午前9時から行います。詳しくは、役場議会事務局 TEL 963-1737（直通）までお問い合わせください。